

皆様の多様な取り組みが
ふるさとを育んでいます

第34回

杉岡 誠 村長の
愛楽故郷味

あいらくふるさとみ



県内でも取り分け冷涼であるはずのこの飯館村でも、連日の蒸し暑い気温が続いている盛夏のみぎり、皆様いかがお過ごしでしょうか。9日～11日には相馬地方町村会による行政視察にて大堀新地町長とともに、熊本県を訪れました。東シナ海に臨む天草郡苓北町は、至る所に素晴らしい眺望があり、仮想空間を利用した移住施策にチャレンジしてまいりました。また熊本地震の影響で一時人口が減少した西原村では近隣の半導体工場の誘致もあって人口が増加していることなどを学びました。特にお子さんの一時預かりをしやすき環境を作ること、働き盛りのご家族の移住を進めていることなど、貴重な知見を頂戴しました。

13日にはゲストハウスCOCODA主催の「第2回わくわく交流フェスタ」が開催されました。福島もも娘、川俣コスキン、トモダチプロジェクト、東京大学ダブルタッチサークルのパフォーマンスや音楽の演奏、動物との触れ合い、キッチンカーなどイベントが沢山あり、村内外の方々が楽しまれておりました。また26日には大倉地区で「はやま湖まつり」が開催されました。「大倉の神楽」の素晴らしい演奏、お子さんが太鼓を叩く姿に、伝統の継承と未来を感じました。見応えたっぷりの盛大な花火に、多くの観衆の皆様が思わず歓喜の声を上げておられ、来年への期待の声もお聞きました。多様な主体が創意工夫を実現することが、ふるさとを育んでいます。

13日は「村民グラウンドゴルフスポーツ交流会」も開催され、村民の皆様腕前と健脚に改めて驚かされました。笑顔で楽しめる皆様は体力には脱帽の限りです。私自身もホールインワンを決めることができ、嬉しかったです。27日は4回目となる「飯館村長杯パークゴルフ大会」が行われ、今回は福島市、二本松市、伊達市からの参加者もいらつしやるなど、村民の元気が他市町村の方にまで伝わっていることに思いがけぬ嬉しさを感じました。健康寿命の増進を目指す村としても、こういったスポーツによる生き生きとした活動に注力してまいります。

来月も飯館村では多くのイベントが催されます。村公式LINEやSNS、お知らせ版、郵送されるチラシをご参照の上、奮ってご参加いただけますと幸いです。これからがまさに夏本番。適切なエアコンの使用とこまめな水分の摂取が肝要です。夏野菜をはじめ、飯館村の美味しい食材を食べて、栄養補給をしながら、皆様どうぞ元気に過ごしてください。

■ ひとのうごき

結婚おめでとう

氏名	行政区
三浦 有矢 さん	草野
大槻 美友 さん	

HAPPY WEDDING!

おくやみ

氏名	年齢	行政区
高橋 静子 さん	89	長泥
八巻 奈於乃 さん	91	上飯樋
圓谷 キミ子 さん	89	蕨平
三輪 美知子 さん	71	関沢
齊藤 光一 さん	100	八木沢・芦原
遠藤 由勝 さん	80	大倉
佐藤 キン さん	81	長泥

ご冥福をお祈り申し上げます

ひとのうごき 令和7年7月1日現在

人口	今月(前月比)	6月1日～30日までの人口動態
●男	2,251人(-5)	転入 1人
●女	2,176人(-8)	転出 5人
計	4,427人(-13)	出生 0人
世帯数	1,797戸(-5)	死亡 8人
		(住民基本台帳人口)

(6月21日から7月20日までに届け出のあったものを掲載)
※この欄に掲載を希望しない方は、届け出の時に住民係へお申し出ください。

『夢みるいいたて村3どトークプログラム&つなぐ写真館』開催

7月20日、いいたて村の道の駅までい館で開催された『夢みるいいたて村3どトークプログラム』。いいたて村移住サポートセンター3どの企画で、飯館村での「自己実現」や「夢」を語り合うシンポジウムです。ゲストスピーカー14人と参加者35人が4つのテーマで語り合いました。また、「つなぐ写真館」の撮影会とマルシェも同時開催し、多くの人が出会いと交流を楽しみました。



「つなぐ写真館」(撮影は出張シロヤマ写真館)の写真より。(上)農業をテーマとした回のゲストスピーカーの皆さん。(左下)トークプログラムの司会を担当したフリーアナウンサーの菅原美智子さん。(右下2枚)「つなぐ写真館」撮影写真の一部。



皆さんが広報委員！
いいたて **PHOTO** リレー
フォト
月ごとのテーマで写真を募集、エピソードと共に紹介します。



撮影 尾崎勇吾さん
テーマは「ヤマユリ」と「七夕」



「役場の前にきれいなヤマユリが咲いていたので、織姫と彦星の折り紙と一緒に撮影してみました」。そう語るのは、経済産業省から飯館村駐在職員として勤務している尾崎勇吾さん。令和7年7月7日、七夕の日にご入籍されました。奥様とは地元の大阪で出会い、福島と大阪の遠距離恋愛を経て、現在は福島で一緒に過ごしています。「村に派遣が決まった時に最初に相談したのが今の奥さんでした。その時、『きつといい経験になる』と背中を押してもらい、心の支えにもなりました。村に来ることが、自分たちの仲を一層強めるきっかけになったと思います」と、奥様への思いを語ってくれました。ヤマユリは村の花でもあり、花言葉は「純潔・飾らない愛」です。『「1会話に1笑い」を目標に、笑顔の絶えない家庭を築きたい」と語る尾崎さんご夫婦にピッタリの花ですね。

9月号	例えば…「お盆」「スイカ」「夏野菜」「入道雲」をテーマに。	10月号	例えば…「お月見」「キンモクセイ」「敬老」「食欲の秋」をテーマに。
8/15締切		9/17締切	

- 写真様式 データ、現物を問いません。 ■ 写真枚数 1掲載につき1～2枚程度。
- 提出方法 電話で写真の詳細をお聞きした後、相談させていただきます。
- 選考 応募多数の場合は選考します。 ■ 報酬 1掲載につき1,500円。

問 村づくり推進課企画定任係(広報担当:巻野) ☎0244-42-1613